整理番号

D－1－1　　404

標 題 名

農事試驗場要報 第十九號

東北地方に於ける稻の播種及移植期

著 者 名

発行者名

農商務省農事試驗場

発 行 年

明治４１年（1908年）

製作年月

令和４年３月

明治四十一年三月

農事試驗場要報 第十九號

東北地方に於ける稻の播種及移植期

農商務省農事試驗場

緒言

東北地方に於ては稻の成熟期に先ち氣溫急に低下し爲めに減收を來すこと稀ならさるか故に同地方に於ては成熟晩き種類の栽培を避くへきは勿論其播種及移植の時期に注意し成熟を促進せしむること最も肝要なりとす依て左に從來農事試驗場陸羽支場に於て施行せる試驗の成績に依り東北地方に於ける水稻の播種及移植期と成熟期及收量との關係を記述し以て同地方農家の參考に供せんとす

明治四十一年三月

農商務省農事試驗場

（東京西ヶ原）

目次

(一) 播種期と收量との關係
(二) 移植期と收量との關係
(三) 苗の長短と成熟期及收量との關係
(四) 結論

農事試驗場要報第十九號

東北地方に於ける稻の播種及移植期

水稻の播種及移植期の早晩は其成熟期及收量に多大の影響を及ほすものなれは之れか適期を過らさるに注意すること最も肝要なりとす殊に東北地方の如き氣候の所にありては播種及移植期の晩るゝときは爲めに意外の減收を來すこと稀ならさるか故に努めて其時期を早め成熟を促進せしめさるへからす左に陸羽支場に於て施行せる試驗成績に依り水稻の播種及移植期と其成熟期及收量との關係を概述せん

(一) 播種期と收量との關係

種籾播下の時期の早晩により其成熟期及收量に及ほす影響を調査せんか爲め四月中旬乃至五月中旬の間に於て七日毎に種子を播下し何れも六月中旬に移

植したるに其成熟期及收量殆んと差異なきを認めたり卽ち左表の如し

播種期	成熟期	玄米收量
四月十四日乃至廿一日	九月三十日	一、九一〇石
同月廿八日乃至五月五日	十月二日	一、八四二
五月十二日乃至十九日	同月二日	一、八五四

(二)　移植期と收量との關係

移植期の早晩により成熟期及收量に及ほす影響を調査せんか爲め四月中旬乃至五月中旬の間に播種したる苗を五月下旬乃至七月上旬の間に於て移植したるに其成熟期及收量は播種期の早晩とは殆んと關係なく移植期の晩くるゝに從ひて成熟期遲延し收量亦遞減するを認めたり卽ち左の如し

播種期	移植期	成熟期	玄米收量
四月中旬	六月上旬	九月廿八日	二、〇五六石
同	中旬	十月一日	一、八六〇

四月下旬	同下旬	同月七日	一、七四七
	五月下旬	九月廿九日	二、〇二六
	六月上旬	同月三十日	一、九七三
	同中旬	十月三日	一、八一二
	同下旬	同月十一日	一、五七九
	七月上旬	同月十六日	一、二七三
五月上旬	六月上旬	同月一日	一、九〇〇
	同中旬	同月一日	一、八五九
	同下旬	同月八日	一、七七六
	七月上旬	同月十六日	一、四二九
五月中旬	六月中旬	同月二日	一、八五四
	同下旬	同月九日	一、五九一
	七月上旬	同月十六日	一、四三六

以上の事實に依りて見れは東北地方に於ける水稻の成熟期及收量は移植期の

早晩に依りて著しき差異あるか故に成るへく早く苗を本田に移植すること極めて肝要なりとす

(三)　苗の長短と成熟期及收量との關係

以上述ふるか如く水稻移植期の早きに從ひ成熟早くして收量亦多きか故に成るへく早植をなすこと必要なりと雖も之れか爲めに特に播種期を早むるの必要なしとす人或は早く播種するにあらされは苗の伸長充分ならさるか故に早植を行ふも其効果少なからんことを論せんも苗の長短は成熟期及收量に影響を及すこと少なく且四月二十日以前は融雪の爲め苗代の整地困難なることあるのみならす氣溫尙低く霜害の虞なきにあらさるを以て此等の障碍を排して早く播種するも發芽歩合少なく苗の生育不良なること多きか故に四月二十日乃至五月二日頃の間に於て播種するを可とす今左に播種期の早晩と苗の長短成熟期及收量との關係を表示せん

播種期	移植期	苗の長さ	成熟期	玄米收量
四月十四日	六月十三日	○、七八尺	十月　一日	一、八六〇石
同　廿一日	同月　十日	○、九三	九月三十日	一、九五九
同　廿八日	同月　七日	○、六五	同　三十日	一、九八七
五月　五日	同月十四日	○、七九	十月　一日	一、八五九

是に依りて見るも水稻の成熟期及收量は其移植期の早晩により差異あるも播種期及苗の長短とは關係なきを知るに足るへし

(四)結論

以上記述せる所に依り結論を下せは左の如し

(一)　東北地方に於ける水稻の成熟期及收量は稻苗移植期の早晩により大なる影響を受くるものなれは成るへく早植を行ふに利ありとす

(二)　種籾播下の早晩は成熟期及收量に及ほす影響少なきか故に特に種々の困難を排して早播するの必要なく四月二十日乃至五月二日頃の間に播下せは可

なり

(三)　苗の長短は成熟期及收量に及ほす影響少なきか故に苗の伸長を待つか爲め移植期を晩らしむることは寧ろ不得策なりとす

明治四十一年三月二十七日印刷
同　年三月三十日發行

農商務省農事試驗場
（東京西ヶ原）

印刷者　東京市京橋區築地三丁目十一番地
野村宗十郎

印刷所　東京市京橋區築地二丁目十七番地
株式會社東京築地活版製造所

植物防疫資料館
C－ 11－ 007
農業技術研究所
寄 贈
D
1－1
404